

【新年のリアル対面盛上げる ゲーム買ったはレムチャパンだよ】

2024年1月の幕開けは4年ぶりのリアル対面行事が続いた。ジョークサロン新年会@埼玉・サイボク内レストラン「花鳥風月」。千代田区昌平幼稚園向けボランティア活動「むかしあそび」サポート。会社同期入社組の懇親会(魂誓)@田町・河岸番外地。そこに持参して皆さんに披露して好評を博した(と本人は思っている)ゲームがシャット・ザ・ボックスである。シニアステーション(東嶺町、田園調布)でも結構受けました。



今年年明け早々5回も披露できたのも、タイ出張の時に夜の散歩で立ち寄った Beer Bar のカウンターに置いてあるのが気になって買い求めたからだった。

(2002年10月22日に「ゲームを買いあさり、ゲームを行う」と日記にあった。)

見た目がボロボロで汚れていたゲームを「これが欲しい。いくらですか?」と聞いたら、そこにいたホステスが「新品のゲーム売ってる所へ案内するわ」と言うので、お尻について行って5個買い占めた。当時のレートだと200パーツで500円位だった。



レムチャパンの位置

「遊び方分るの?」と聞かれて、「じゃあ、教えて下さい」と頼んで教えて貰ったのが、現在披露しているダイス(サイコロ)を2個振って1~9迄の9枚の数字タイルを一回毎に一枚シャットする遊びだ。その時から現在に至るまで、タイでこのゲームといいホステスさんにであったことを「ありがタイ」と思っている。日本国中いろんな人に紹介するが、皆さん馴染みがないゲームなのか、遊びつつ「面白いじゃないか」とか、「どこで手に入るの?」等と言ってくれるのでそれもまたありがタイことだ。



実は、買った場所をずっと20年以上「ラムチャパン」と覚えていたのだが、改めて場所を検索すると「レムチャパン」が正しい名前と分った。間違った名前をずっと使い続けて来たが、誰からも「レムチャパンだろ」と言われたこともなかったなあ、と苦笑いしている。

「ラムチャパン」20年来言い続け 今にして知る「レムチャパン」だと
あちこちのゲームコーナー覗いては シャットザボックス買い込みました

【伝笑鳩 TEAL GREEN に持ち行けば 新たな出逢いニャンとも嬉し】

伝笑鳩 412 号の仕上がりを待ってご近所の郵便局へ出向き、金鳥さんや郵便さんへの送付を済ませ局員さんへの PR も行う。次はプロジェクトを無料貸与してくれているちどりフローラ薬局・亀井さんにスタッフ皆さん分をお届けする。そして散歩途中の立ち寄り先・お茶がのめる絵本の店(というか絵本が買える喫茶店?)“TEAL GREEN”へ出向く。2023 年の一笑投票にも参加して頂いた店主のご主人への御礼参りである。



お茶はのまず、いつもコーヒーだ。そして、言葉遊びの本などを眺めては、インスピレーション湧くものを探す。絵本の原画が展示されていたり、絵本作家のお話会などもあり、店内はファンタジーな雰囲気のあるときもある。

先客の女性に声をかけて、伝笑鳩を PR する。少し話をすると絵本画家とのことで、店内においてある本を紹介してもらい、「ねことことり」を早速購入しサインを頂く展開になる。頂いた名刺は「なかの真実」と連絡先だけ。



にこやかに笑顔で返すなかのさん 真実(しんじつ)と書きまみと読ませる
躊躇わず「ねことことり」や絵はがきを 買えば喜ぶ猫たちの顔